

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 1月22日

事業所名 児童発達支援 ねっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		活動室内には必要以上の物は置かないようにしており、スペースを最大限に利用していただけるようにしています。	引き続き、必要に応じて(人数・活動内容等)環境調整を行います。
	2	職員の配置数は適切である	○		今年度は8月に職員が1名退職したことにより法令で指定されている配置数に加え、児童指導員1名を配置していた状態が続いておりましたが、12月より保育士を1名増員しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		写真やイラストなどを用いて、視覚的に分かりやすく情報伝達を行うよう努めています。またお子さんが気になる物に関しては、視界に入らないようにしたり、取り除いたりしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		療育終了後の掃除は欠かさず行っています。感染症対策として療育で使用した備品や玩具など消毒を実施。また、室内の換気を行い、空気清浄機を常時作動させています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		朝礼・終礼時や全体会議の場で全職員に向けて必要な情報を周知しています。また問題点の対応についても話し合っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		自己評価のアンケートとは別に年に1度、全ての保護者に対して希望調査(アンケート)を実施しています。また定期的に保護者面談を実施して、その中で意向等を把握して業務改善につなげています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	西宮市内にて複数の児童発達支援事業所に当事業所の自己評価をチェックしていただき、ご意見やご助言をいただいで作成しています。	然るべき外部機関に評価をいただくことができていないため、令和7年度の検討課題とします。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		出来る限り多くの職員が事業所内での研修や外部研修に参加できるように調整しています。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		面談時の聞き取りやお子様療育中での様子を基にアセスメントを実施しています。また希望者には当センターにて発達検査を実施しています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		必要に応じて当センターにて発達検査を実施しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		支援内容等を個別支援計画に記載しています。地域支援に関しては必要に応じて幼稚園や保育所と連携を行っています。家族支援に関しては親子通園や面談にて相談を受けています。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		個別支援計画に沿って支援を実施しています。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的にクラスを担当する職員で話し合い、プログラムの立案を行っています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		毎月、療育プログラムを作成して保護者に配布しています。活動に関しては同じ活動でも方法を変えるなどの段階をつけたり、活動時のお子さまの様子を基に内容を変えたり、プログラムが固定化しないように努めています。	
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		個々に集団と個別の課題を支援計画の中に取り入れ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		療育開始前に打ち合わせを行い、内容の確認や役割分担を行っています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		当日に気付いた点を話し合い、情報共有を行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		保護者との面談時に実施しています。	
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達管理責任者が積極的に参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地域の保健センターと連携を図っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		当センター内にて外部の関係機関との連携を図っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医より医療情報を提供していただいています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じてお子さまの情報提供書を作成しています。また支援会議にも出来る限り参加するようしており、会議の中で情報を共有できるように努めています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じてお子さまの情報提供書を作成しています。また支援会議にも出来る限り参加するようしており、会議の中で情報を共有できるように努めています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		研修を受講しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		令和7年度の検討課題とします。 当事業所を利用されているお子さんの多くは幼稚園、保育所に通っているため、未就園児のお子さんが地域の幼稚園、保育所と交流する機会を設定する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		児童発達支援管理責任者が西宮児童発達支援連絡会に参加しています。	
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		面談や送迎時、自由時間などでお子様に関する情報の聴き取りを行っています。	
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		親子通園クラスにて2ヶ月に1回程度で保護者学習会を実施しています。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		懇談の時間を設けて、説明させていただいています。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		定期的に面談を実施しています。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		親子通園クラスにて2ヶ月に1回程度で保護者学習会を実施しており、保護者同士が交流していただける機会を設定しています。	
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		当センター内に苦情対応窓口があります。詳細は契約書に記載しており、説明も行っていきます。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月プログラムを発行、活動概要や行事予定については発信しています。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		個人情報が記載された書類は鍵付の棚に保管しています。	
39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		面談や送迎時、自由時間などで保護者と意思の疎通を行うよう努めています。またお子さまに対しては、視覚支援で事前に予定を伝えるようにしています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		当センターで実施する催し物の案内を行っています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルに関しては保管場所を保護者に周知しており、必要に応じて閲覧していただけるようになっています。	マニュアルの策定及び職員間での訓練は実施できていますが、保護者への周知と子どもが参加しての訓練は実施できていないため、今後の検討課題とします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		情報シートに記入いただいています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事の提供は行っていません。フェイスシートや保護者の聞き取りにて食物アレルギーの情報は事前にいただいています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を受講しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		個別支援計画には記載しており、さらに同意書を作成して保護者に説明を行っています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。